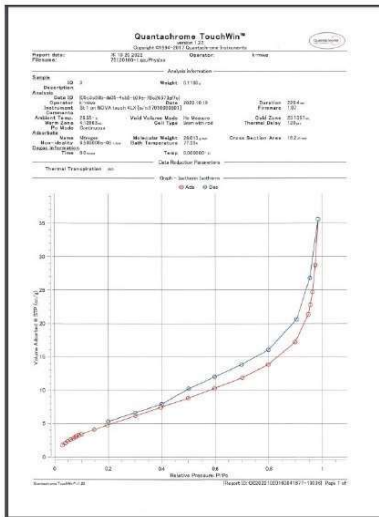


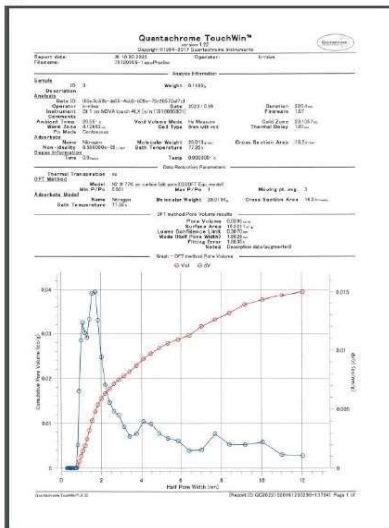
① 比表面積データの解説



試料に窒素ガスを吸着（赤線）、脱着（青線）した記録です。
島津製作所の解説（下記 URL 参照）に詳しいのですが、米ぬか灰試料は H3 のヒステリシスパターンに近いので、スリット型細孔（薄板が重なったような形状）と見られます。

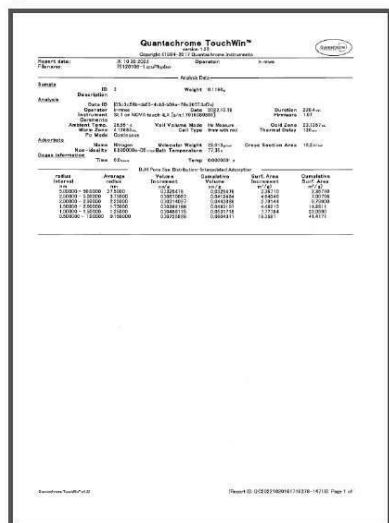
<https://www.an.shimadzu.co.jp/powder/lecture/practice/p02/lesson05.htm>

②



細孔を円柱に見立てて、円柱の半径（細孔半径）を横軸、細孔容積を縦軸（微分積分）に表示しています。
半径 1.5nm くらいの細孔が多く分布しています。

③



細孔径の範囲が全体のどれだけを示すかを数値で表しています。解析方法が違うため、積分値と報告値は同じにはなりません。（報告値の2倍くらいになります）
細孔容積（volume 欄）を見ると、全部で 0.060cc/g であるうち、半径 5-50nm の大きい細孔（メン孔）が半分の 0.032cc/g を占めています。
活性炭は半径 1nm 未満の細い細孔（マイクロ孔）がほとんどを占めるため匂い物質などの小さい物質の吸着に有利です。対して米ぬか灰はメン孔が多いため、水や水蒸気を通すには都合がいいです。
従って米ぬか灰は水はけの効果が期待できるといえます。

< SENDOを透水した水質分析結果 >

表 地下水の水質汚濁に係る環境基準値およびSEND0の値

項目	基準値	SEND0の値	計量の方法
カドミウム	0.003	0.003未満	JIS K 0102 55.4 (2019年)
鉛	0.01	0.005未満	JIS K 0102 54.4 (2019年)
六価クロム	0.05	0.01未満	JIS K 0102 65.2.5 (2019年)
砒素	0.01	0.005未満	JIS K 0102 61.4 (2019年)
ふっ素	0.8	0.12	昭和46年環境庁告示第59号 付表7
ほう素	1	0.1未満	JIS K 0102 47.4 (2019年)

注.1 単位：mg/L

注.2 地下水の水質汚濁に係る環境基準について

(平成9年3月環境庁告示第10号 改正：令和2年3月環境省告示第35号)